

南三陸 SDGs アクティブラーニングプログラム

■タイトル：南三陸 SDGs アクティブラーニング②ゴミから持続可能な未来を考える

南三陸町のバイオマス都市構想の取り組みから環境を考えるアクティブラーニングプログラム。自分たちが何気なく捨てているゴミについて考え、普段の生活を環境視点に置き換えるシミュレーションを行います。講師の話やグループワークから、自身の行動が環境を守る行動へ、意識をめぐらせます。

□料 金：3,300 円（税込）

□所要時間：約 2 時間

□定 員：25 名～40 名

□内 容：

①イントロダクション（30 分）

- ・バイオマス都市構想および、循環型社会を目指す南三陸町についての説明・理解を深める。

②グループワーク（40 分）

- ・身近な「ゴミ」について考える

③発表・まとめ・質疑応答（50 分）

□関連する SDGs のゴール

- 2. 飢餓をゼロに
- 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 13. 気候変動に具体的な対策を
- 14. 海の豊かさを守ろう
- 15. 陸の豊かさを守ろう

□プログラムの背景

※南三陸町のバイオマス都市構想について

東日本大震災の復興にあたり、町は「南三陸町バイオマス都市構想」を定め、2014 年に国の認定を受けました。地域のバイオマス資源を有効活用し、豊かな地域資源である森・里・海・街のつながりを創出することで、人と環境にやさしく、震災に強いまちづくりを進めています。2015 年に開設されたバイオガス施設「南三陸 BIO」において、町内から回収した生ごみ等を資源化し、液肥等に再生利活用しています。

□会場想定：上山八幡宮社務所

□講 師：工藤真弓氏